

どんぐり村の こみ・すく通信

令和8年4月10日発行 令和8年度 第2号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

令和7年度 第4回 コミュニティ・スクール委員会

3月4日(水)に、今年度最後のコミュニティ・スクール(CS)委員会の開催が予定されていましたが、前日からの大雪のため中止となりました。

年度末の多忙な中で、延期日の日程調整も難しくなり、今回は「書面会議」に似たかたちで終えることになりました。委員の方々に議案書や資料を送付し、何かあればご意見等をいただくといったものでした。

議案書には、例年通りに、以下のような内容の議案が掲載されていました。

- ・第4回学校運営協議会の報告
- ・CSの今年度の取組の報告
(どんぐり村子ども会議、みんなの学校応援団の登録、各学校の地域学校協働活動等)
- ・「十勝管内教育委員会連絡協議会・研究実践指定校(指定地域)研究協議会での指定地域としての発表の報告
- ・協議内容
(どんぐり村子ども会議での提案内容、今年度のまとめと反省、来年度の取組)

「書面会議」の結果は、委員の方々からの意見や質問は特にないということで、無事に会議を終えることができました。委員の皆様、一年間、ありがとうございました。



↑昨年8月の「合同研修会」

令和7年度 みんなの学校応援団の活動

「生きることを考える」

3月10日(火)に、更別中央中学校3年生が、さらべつほーぷの山田康介(診療所長)さんから、「生きることを考える」と題した命の授業を受けました。

授業では、持参した「母子手帳」を見ながら自分が産まれてきた時のことを確認したり、ドラマ「コウノトリ」での出産場面を見て命の大切さを考えたりしました。後半では、中学校生活を振り返る中で、在学中に亡くなった級友のことにも触



れ、卒業間近の3年生にとって、あらためて自分の命を考える貴重な授業となりました。

小3「更別村の歴史」

3月12日(木)に、更別小学校と上更別小学校の3年生が、社会科の授業で、村教育委員会の阿部義昭(社会教育指導員)さんを講師に招いて、「更別村の歴史」について学びました。

開拓時には先人のご苦労がたくさんあったことや、村の発展がどのように進んできたか等、詳しくていねいに教えていただきました。説明の要所所でクイズも出され、子どもたちは楽しみながら学習することができました。クイズの一つに、「バツタの大発生」もありました。

子どもたちの質問では、「昔の遊びはどんなものがありましたか?」「学校はどんなふうにして



できたのですか?」等、関心の高さを感じさせる質問が次々と飛び出していました。